



2月

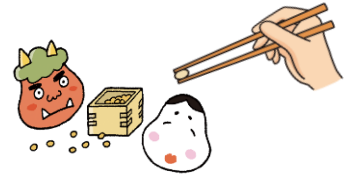
給食だより

2025年 2月
越前市大虫小学校

2月になりました。2月は”逃げる”というように、あっという間に逃げて過ぎてしまう月です。




寒い冬は早く過ぎゆき、あたたかい春を待ちこがれる今日この頃ですね。

さて、「2月2日は節分」、「2月3日は立春」と暦の上では「春」になっていきますが、まだまだ寒く、体調をくずしがちです。「食事のバランス」や、「早寝、早起き、朝ごはん」で生活リズムを整えて、寒さに負けず元気に毎日を過ごしましょう！



節分と行事食

日本の行事食 今年、2月2日(日)『節分』

<p>恵方巻き</p> <p>その年の縁起の良い方角(今年、西南西)を向いて、太巻きを切らずに、そのまま無言で食べると良いことがあるとの言い伝えがあります。関西地方にあった風習が、全国に広まったものです。</p> 	<p>イワシや大豆</p> <p>イワシを焼くにおいて、鬼を追い払うと言われています。イワシの頭をヒイラギの枝にさして玄関に飾り、厄除けに使います。</p>  <p>大豆は、煎った豆を使います。追い払った悪いものから、芽が出ないことを祈るからです。年の数だけ、豆を食べ、1年の幸せを祈ります。</p>	<p>こんにやく</p> <p>体の中の不要なものを出す「砂おろし」として、こんにやく料理を食べる地域もあります。</p> <p>そば</p> <p>年越しそばと同じように、新年への願いを込めてそばを食べる風習がある地域もあります。</p> 
---	--	--



2月17日(土)『ごぼう講』

えちぜんしくになちちょう おこな
越前市国中町で行われているめずらしいお祭りです。

えどじだい つづ ほうさく けんこうきがん ねが おこな
江戸時代から続いていて、豊作や健康祈願を願って行っています。山盛りのごぼうのおかずを食べます。

<p>焼き豆腐 (やき豆腐) のもの</p>		<p>物相飯 (もっそうめし) 5ごうぶんのごはんを もりつけます</p> <p>ごぼうのみそあえ</p>
---------------------------------------	---	--

ただ正しいはしの持ち方

ただ正しくはしをもつて **豆を食べよう!**

みなさんは、自分に合ったはしを使っていますか？
自分の手の長さから、自分に合うはしの長さを計算できるので確認してみましょう。

はしの長さチェック

はしの長さの計算方法

- ① A (手首から中指の先までの長さ) × 1.2
- ② B (親指と人差し指を直角に広げた長さ) × 1.5

※①と②のどちらで計算しても構いません。

2月7日は福井県の「ふるさとの日」

2月7日は、福井県が誕生した『ふるさとの日』です。昭和56年に、福井県が誕生して100年目をむかえたことを記念してできました。この日は、ふるさとについての理解と関心を深め、より豊かなものにしようという日です。

福いっぱい

福井県の新鮮な魚や野菜がたっぷりの給食となっています。

自然の恵みに感謝して味わって食べましょう。

しきぶごぜん

やさしいしきぶあえ

さばのあまみそかけ

コシヒカリ

ふるさとあじわうみそしる

福井県は、鯖の産地としても有名どころです。

2018年11月には、当時、福井県立若狭高等学校海洋科学科の生徒たちが研究・開発した『サバ缶』が宇宙食に認定されました。